

施 工 条 件 総 括 表

下記項目、事項のうち○印欄は、工事施工にあたって制約等を受けることになるので明示する。なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは発注者と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明示事項	施 工 条 件
Ⅰ 工事関係	<p>1. 関連する別途発注工事あり。</p> <p>・ 工事名 : ・ 予定期間 :</p> <p>2. 施工時期、時間、方法の制限あり</p> <p>・ 時 期 : ・ 時 間 : ・ 方 法 :</p> <p>3. 関係機関協議による工程条件あり</p> <p>・ 協 議 内 容 : ・ 完了予定時期 :</p> <p>④ その他</p> <p>・ 阿賀野市が発注する工事の施工及び管理は、「新潟県土木工事標準仕様書」及び「散水消雪施設設計施工・維持管理マニュアル」に準ずるものとする。</p> <p>・ 当該工事を施工するために下請負契約を締結する場合には、下請金額にかかわらず施工体制台帳を作成すること。</p>
Ⅱ 用地関係	<p>1. 工事用地等の未処理部分あり</p> <p>・ 処理見込時期 : ・ 区 間 :</p> <p>2. 仮設ヤードの指定あり</p> <p>・ 場 所 : ・ 期 間 :</p> <p>3. その他</p>
Ⅲ 公害対策関係	<p>① 公害防止の制限あり (騒音・振動、排出ガス) 粉じん、水質等)</p> <p>・ 施工方法 : ・ 作業時間 :</p> <p>② 家屋等の調査の必要性あり</p> <p>・ 方 法 : 任意によるブロック塀・家屋周りの調査 ・ 範 囲 : 任意</p> <p>3. その他</p>

明示項目	施 工 条 件
Ⅳ 安全対策関係	<p>① 交通安全施設等の指定あり</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通誘導警備員： 2.0人/箇所 29.0日間 (58.0人日) (勤務実績提出の必要あり) 交通誘導警備員については、警察等関係機関との協議により交通処理方法等の変更が生じた場合や現地の状況により、これによりがたい場合は、監督員と協議すること。 その他施設等：
	<p>2. 近接作業制限あり（鉄道、ガス、水道、電気、電話等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 内 容： 工 法 制 限： 作業時間制限：
	<p>3. 発破作業あり</p> <ul style="list-style-type: none"> 保安設備及び保安要員： 防 護 工： 作業時間制限：
	<p>4. 防護施設（落石、雪崩、土砂崩落等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 内 容：
	<p>⑤ その他</p> <p>道路工事現場における保安施設等の取り扱いは「工事用標識等設置要領」により、交通規制の内容を明確にし、歩行者等の通行はセフティーコーン等で分離してできる限り確保し、施工計画書を提出する。</p>
Ⅴ 工事用道路関係	<p>1. 一般道路を搬入路としての使用制限あり</p> <ul style="list-style-type: none"> 搬入経路： 期 間： 使用後の処置：
	<p>② 一般道路の占用</p> <ul style="list-style-type: none"> 期 間：工期内 規制条件：片側交互通行または全面通行止め 時間制限：
	<p>3. 仮設道路設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 工法指定の有無： 用 地 関 係： 安 全 施 設： 工事完了後の「存置」又は「撤去」：
	<p>④ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 市営バス(総務課)、スクールバス(学校教育課)、園児バス(幼・保育園)等と打合せを行うこと。 交通規制の計画については実施までに十分余裕をもって策定し、発注者に報告するとともに関係者に周知すること。
Ⅵ 仮設備関係	<p>1. 仮設備の指定あり</p>
	<p>2. 仮設備の条件指定あり</p>

明示項目	施 工 条 件
	3. 仮設構造物の転用、兼用あり ・ 工 種 : ・ 内 容 : 4. イメージアップあり ・ 内 容 : 5. その他
Ⅶ 残土・産業 廃棄物関係	別紙「建設副産物特記仕様書」のとおり
Ⅷ 工事支障物件 等	① 占有支障物件あり (電気、電話、水道、ガス等) ・ 内 容 : 各種物件の位置関係を事前に確認のこと。 ・ 移設、撤去、防護方法等 : ・ 時 期 : 2. 占有物件重複施工あり ・ 内 容 : 3. その他
Ⅸ 排 水 工 (濁水処理含 み、)	1. 濁水、湧水処理等の特別な対策あり ・ 内 容 :
X 薬液注入関係	1. 薬液注入工法あり ・ 別紙条件明示による
Ⅺ その 他	1. 現場発生材あり ・ 品 名 : ・ 納入場所 : 2. 支給品及び貸与品あり ・ 品 名 : ・ 引渡場所 : ③ その他 ・ 舗装版切断時の濁水処理について当初計上を行っていないため、監督員と協議を行うこと。

建設副産物特記仕様書

1. 再生資材の利用

下記の資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	備考
アスファルト再生路盤材	ARC-40 (RC混合)	下層路盤	
再生アスファルト合材	⑤、⑨	表層工	

2. 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3. 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記により積算している。

搬出先	残土処分場	
搬出先地名		
連絡先		
設計運搬距離	5.2km	
設計受入費用	1,000円/m ³	
受入時間	要確認	
仮置場所の有無	要確認	
備考		

建設発生土改良プラントへ土砂を運搬処理する場合、上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。

なお、発注者が想定している施設と受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものではない事項についてはこの限りではない。

注) 受入先が建設発生土改良プラントの場合、搬出先欄には「プラント」と記載し、搬出先地名、連絡先の欄は記入しない。

4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記により積算している。

搬出する廃棄物名	As殻運搬	Co運搬(鉄筋)	Co運搬(二次製品)	
設計運搬距離	4.3km	8.0km	4.3km	
受入時間	要確認	要確認	要確認	
設計受入費用	1,500円/t	1,200円/t	2,500円/t	
備考				

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、発注者が想定している施設と受注者の提示する施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものではない事項についてはこの限りではない。

5. 建設リサイクル法の対象工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、法第18条に基づき再生資源化等完了報告書を提出すること。

6. 自ら産業廃棄物を運搬する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7. 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに発注者に報告し、協議すること。